

サイボウズ ガルーン
バージョン 3.x
デヂエ連携ガイド

第 3 版

サイボウズ株式会社

はじめに



本書では、バージョン 3.1.0 以降のサイボウズ ガルーンを、バージョン 8.0.2 以降のサイボウズ デヂエと連携させる設定方法、および設定後の操作方法について説明しています。

● 対象読者

本書は、バージョン 3.1.0 以降のサイボウズ ガルーンとサイボウズ デヂエ バージョン 8.0.x を連携させて使用する一般ユーザーおよび管理者の方を対象として書かれています。

● 本書で使用している表記

本書では、次の表記を使用しています。

表記	意味
 注意	操作に注意すべき事項、制限事項など
 補足	操作の補足説明や別の操作方法、知っていると便利な事柄など
[]	画面上のボタン、リンク、またはタブ
- ##ページ	参照先のページ

● マニュアル作成環境

本書の説明は、特に記述がない限り、次の環境を使用して記述しています。

OS	Windows 7 SP1
Web ブラウザー	Internet Explorer 9
製品バージョン	サイボウズ ガルーン バージョン 3.7.0 サイボウズ デヂエ 8.0.2

本書で掲載している画面表示は、お使いの Web ブラウザーによって異なります。

● 製品名称と略称

本文中、各製品名称は次のように表記します。

製品名	略称
サイボウズ ガルーン バージョン 3.1.0 以降	ガルーン
サイボウズ デヂエ バージョン 8.0.x	デヂエ
サイボウズ Office バージョン 8.0.x	Office

● 本書の取り扱いについて

この文書内における掲載情報の二次利用においては、ご自身の判断と責任の下に行ってください。サイボウズ株式会社は、それらの情報を利用したことによって生じたいかなる損害についても、その責を負わないものとします。

また、本文書を二次利用し作成した文書には、次のような当社の著作権表示文を記載してください。

「本文書は、サイボウズ株式会社による『サイボウズ ガルーン バージョン 3.x デヂエ連携ガイド』を一部引用しております。」

● 商標について

- 記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。
また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。
個別の商標・著作物に関する注記については、こちらをご参照下さい。
http://cybozu.co.jp/company/copyright/other_companies_trademark.html
なお、本文および図表中では、(TM)マーク、(R)マークは明記していません。
- OpenSSL (Copyright (c) 1998-2001 The OpenSSL Project. All rights reserved.)
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.
(<http://www.openssl.org/>)
This product includes cryptographic software written by Eric Young.
(eay@cryptsoft.com)
This product includes software written by Tim Hudson.
(tjh@cryptsoft.com)

目次

はじめに	2
目次	4
1章 デチエ連携について	5
1.1 デチエ連携の概要	5
1.2 連携に必要な条件	5
1.3 連携仕様	6
2章 ユーザー情報を同期する	8
2.1 ユーザー情報の同期を設定する前に	8
2.2 ユーザー情報の同期を設定する	11
3章 デチエポートレットを使用する	13
3.1 デチエポートレットを使用するまでの流れ	13
3.2 システム管理者が行う設定	13
3.2.1 デチエポートレットの使用を許可する	13
3.3 ライブラリ管理者が行う設定	15
3.3.1 ライブラリにガルーンポートレットを設定する（デチエでの操作）	15
3.4 ユーザーが行う操作	17
3.4.1 My ポータルにデチエポートレットを追加する	17
3.4.2 システムポータルにデチエポートレットを追加する	18
付録A コマンドラインでユーザー情報を同期する	19
付録B ログの出力仕様	21
付録C エラーメッセージ一覧	23

1章 デヂエ連携について

1.1 デヂエ連携の概要

ガルーンをデヂエと連携すると、ガルーンの利用者情報および組織情報をデヂエに同期できます。また、デヂエのライブラリをガルーンのパレットに表示できます。

デヂエ

種別	商品名	入・出庫	在庫確認・入荷日	備考
在庫(標準)	その他 (標準) (標準)	20	2019/2/10	営業部にて使用予定があるため、多めに発注
在庫(標準)	その他 (標準) (標準)	-1	2019/4/30	
在庫(標準)	文房具 (標準) (標準)	-4	2019/4/30	
在庫(標準)	文房具 (標準) (標準)	10	2019/4/10	
在庫(標準)	文房具 (標準) (標準)	-1	2019/9/30	
在庫(標準)	文房具 (標準) (標準)	10	2019/9/10	納入社員用に多めに発注
在庫(標準)	文房具 (標準) (標準)	-3	2019/2/28	
在庫(標準)	その他 (標準) (標準)	0		元在庫より繰越
在庫(標準)	文房具 (標準) (標準)	5		元在庫より繰越
在庫(標準)	文房具 (標準) (標準)	20		元在庫より繰越

ガルーン

・ユーザー情報
・組織情報
←
ライブラリのパレット表示
→

種別	商品名	入・出庫	在庫確認・入荷日	備考
標準	システム	10	2019/4/10	
標準	システム	-5	2019/4/30	
標準	システム	-2	2019/2/28	
標準	システム	10	2019/2/10	納入社員用に多めに発注
標準	システム	-1	2019/2/30	

注意

- デヂエの画面や、ガルーンの画面に表示されるデヂエのメニューやボタンなどは、日本語でのみ提供されています。

補足

- 「サイボウズ デヂエ 8 for ASP」とは、デヂエ連携を設定できません。
- ガルーンのタイムゾーンの設定は、デヂエには適用されません。

1.2 連携に必要な条件

ガルーンをデヂエと連携するためには、次の条件をすべて満たしている必要があります。

- バージョン 2.5.3 以降のガルーンおよびバージョン 8.0.2 以降のデヂエを使用している
- 両製品をインストールしたサーバーが、互いに FQDN(完全修飾ドメイン名)で名前解決できる
- 両製品をインストールしたサーバーが、すべて同一のドメインに存在する

補足

- 同一のサーバー内にガルーンとデヂエをインストールしている場合は、FQDN の設定は必要ありません。

1.3 連携仕様

■ 同期する情報について

デヂエ連携を設定すると、ガルーンの次の情報をデヂエに同期できます。

ガルーンの情報	同期する項目	補足
ユーザー情報	ログイン名 名前 E-mail 所属する組織	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガルーンとデヂエで同じログイン名を使用している場合 ガルーンのユーザー情報をデヂエに反映します。 ・ ガルーンのみログイン名が存在する場合 デヂエに不足しているユーザーを追加します。 追加されるデヂエのユーザー情報は、ガルーンのユーザー情報を使用します。 ・ デヂエのみログイン名が存在する場合 ガルーンに存在しないユーザーをデヂエから削除します。
組織情報	組織名 組織コード 組織に所属するユーザー	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガルーンとデヂエで同じ組織コード(デヂエではグループコード)を使用している場合 ガルーンの組織情報をデヂエに反映します。 ・ ガルーンのみ組織コードが存在する場合 デヂエに不足しているグループを追加します。 ・ デヂエのみグループコードが存在する場合 ガルーンに存在しないデヂエのグループを削除します。

「■ガルーンとデヂエのユーザー情報を同期させる場合の注意事項」 - 10 ページ

注意

- ガルーンの Administrator は、デヂエに追加されません。
- 削除対象のユーザーがいる状態で、ユーザー情報の同期を行った場合、ガルーンで削除対象のユーザーを復旧しても、デヂエには反映されません。
- ガルーンのユーザー名の英語表記やローカライズに関する情報は、デヂエに同期されません。

補足

- ガルーンの組織名は、ガルーンの初期設定で設定した言語の表示名でデヂエに同期されます。組織の表示名に初期設定の言語の表示名が設定されていない場合は、標準の組織名でデヂエに同期されます。











■ デヂエポートレットについて

デヂエ連携を設定すると、「デヂエポートレット」を使用できます。

● デヂエポートレット

デヂエの「レコード一覧」画面を表示します。

ライブラリにレコードを登録します。


デヂエ						
備品管理		レコードを登録する				
	種別	商品名	入・出荷	在庫確認	入荷日	備考
		文房具	ふせん (5cm×5cm)	10	2013/4/10	
		文房具	ふせん (5cm×5cm)	-5	2013/4/30	
		文房具	ボールペン(黒 ×20本)	-3	2013/2/28	
		文房具	ボールペン(黒 ×20本)	10	2013/3/10	新入社員用に多めに発注
		文房具	ボールペン(赤 ×20本)	-1	2013/3/30	

デヂエの「レコードの編集」画面を表示します。



デヂエの「レコード詳細」画面を表示します。

補足

- ライブラリ管理者の設定によって、アイコンが表示されない場合があります。
- ユーザーに付与された権限によって、表示されるアイコンが異なります。
 - ライブラリに対して書き込み権限がない場合

レコードを登録する

が表示されません。

- ライブラリに対して編集権限がない場合も、が表示されます。編集権限がないユーザーがをクリックすると、権限がないことを示すエラーメッセージが表示されます。ライブラリは編集できません。

2章 ユーザー情報を同期する

2.1 ユーザー情報の同期を設定する前に

ガルーンのユーザー情報を、すでに運用中のデヂエに同期する場合は、同期を設定する前に準備が必要です。必要な準備は、ガルーンを新規に運用する場合と、ガルーンがすでに運用中の場合で異なります。



注意

- 「サイボウズ Office 8 plus デヂエ」を使用している場合は、作業前にデヂエに移行する必要があります。
- ユーザー情報は、ガルーンを運用しているサーバーのシステム時間とタイムゾーンに合わせて同期されます。

● ガルーンを新規に運用する場合

1 「Office」とユーザー情報を連携しない設定に変更する

「Office」と連携していない場合は、手順2に進みます。

次のどちらかの条件を満たす場合は、「Office」とユーザー情報を連携しない設定に変更します。

- デヂエと「Office」でユーザー情報を連携している場合
- 「サイボウズ Office 8 plus デヂエ」を使用している場合

変更手順は、次のとおりです。

- 1) デヂエの「システム設定」画面で、[ユーザー管理] > [ユーザー情報の連携]の順にクリックする
- 2) 「ユーザー情報の連携 - Step 1/2」画面で「ユーザー情報を連携しない」にチェックを入れて[次に、設定内容を確認する>>]をクリックする
- 3) 「ユーザー情報の連携(ユーザー情報の取り込み) - Step 2/2」画面で[設定する]をクリックする

2 デヂエに登録された各グループに、グループコードを設定する

設定手順は、次のとおりです。

- 1) デヂエの「システム設定」画面で、[ユーザー管理] > [グループ]の順にクリックする
- 2) 各グループの[変更する]をクリックし、グループコードを入力して[変更する]をクリックする



補足

- CSVファイルを使用すると、グループコードを一括で設定できます。

3 ガルーンに、デヂエに登録されているユーザーおよびグループを追加する

デヂエの各グループは、ガルーンでは組織として登録します。

次の項目は、ガルーンとデヂエで同一の値を設定します。

- ユーザーのログイン名および名前
 - 組織コード(デヂエではグループコード)
- 「■ガルーンとデヂエのユーザー情報を同期させる場合の注意事項」 - 10 ページ

4 手順3で追加した各組織に、デヂエに登録された各グループに所属するユーザーを追加する

各組織に所属するユーザーは、ガルーンとデヂエで揃えます。

デヂエに登録された各グループに所属するユーザーは、「フォルダのアクセス権の設定」画面などで確認できます。

● ガルーンがすでに運用中の場合

1 「Office」とユーザー情報を連携しない設定に変更する

次のどちらかの条件を満たす場合は、「Office」とユーザー情報を連携しない設定に変更します。

- デヂエと「Office」でユーザー情報を連携している場合
- 「サイボウズ Office 8 plus デヂエ」を使用している場合

変更手順は、次のとおりです。

- 1) デヂエで、[システム設定] > [ユーザー管理] > [ユーザー情報の連携]の順にクリックする
- 2) 「ユーザー情報の連携 - Step 1/2」画面で「ユーザー情報を連携しない」を選択し、「連携先の製品からユーザー情報を取り込む」にチェックを入れて[次に、設定内容を確認する>>]をクリックする
- 3) 「ユーザー情報の連携(ユーザー情報の取り込み) - Step 2/2」画面で[取り込む]をクリックする

2 ガルーンとデヂエで、ユーザーのログイン名および名前が同一であることを確認する

同一でない場合は、ガルーンとデヂエで、ユーザーのログイン名と名前を揃えます。名前は、デヂエに登録された名前に揃えます。

「■ガルーンとデヂエのユーザー情報を同期させる場合の注意事項」 - 10 ページ

3 デヂエに登録された各グループに、グループコードを設定する

各グループのグループコードは、ガルーンの組織コードと揃えます。

「■ガルーンとデヂエのユーザー情報を同期させる場合の注意事項」 - 10 ページ

設定手順は、次のとおりです。

- 1) デヂエで、[システム設定] > [ユーザー管理] > [グループ]の順にクリックする
- 2) 各グループの[変更する]をクリックし、グループコードを入力して[変更する]をクリックする

 補足

- CSV ファイルを使用すると、グループコードを一括で設定できます。

■ ガルーンとデヂエのユーザー情報を同期させる場合の注意事項

ガルーンとデヂエに設定された値が異なると、デヂエのデータが削除されたり、設定が削除されたりします。

一致しない情報を同期した場合の影響は、次のとおりです。

一致しない情報	デヂエへの影響	備考
ユーザーのログイン名	1)ガルーンのみが存在する場合 デヂエに不足しているユーザーを追加します。 追加されるデヂエのユーザー情報は、ガルーンのユーザー情報を使用します。 2)デヂエのみが存在する場合 ガルーンに存在しないユーザーをデヂエから削除します。	2)の場合、削除されるユーザーに対する次の設定も削除されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ システム管理者 ・ サポート登録者 ・ ライブラリ管理者 ・ アクセス権 ・ メール通知 ・ RSS 通知の表示ユーザー ・ デフォルトビュー ・ ユーザーの「個人設定」画面で設定された「1 画面に表示するレコードの件数」や「My リンク」
ユーザーの名前	同期すると、ガルーンの情報がデヂエに反映されるため、同期前のユーザーの名前で設定した内容が正常に動作しない場合があります。	正常に動作しない場合がある設定は、各ライブラリの次の設定です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「レコード登録者のアクセス権」の設定 ・ レコード登録者へのメール通知の設定
組織コードとグループコード	1)ガルーンのみが存在する場合 デヂエに不足しているグループを追加します。 2)デヂエのみが存在する場合 ガルーンに存在しないデヂエのグループを削除します。	2)の場合、削除されるグループに対する次の設定も削除されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ システム管理者 ・ ライブラリ管理者 ・ アクセス権 ・ デフォルトビュー

 注意

- ユーザー情報を同期後にガルーンの組織コードを変更する場合は、デヂエのグループコードをあわせて変更する必要があります。
ガルーンのみ変更すると、デヂエのグループが削除されます。

2.2 ユーザー情報の同期を設定する

ユーザー情報を同期するための設定手順は、次のとおりです。



- ユーザー情報の同期を設定する前にあらかじめデヂエのデータをバックアップする必要があります。同期したデヂエのユーザー情報は、元に戻せません。
- ユーザー情報の同期でデヂエに追加されたユーザーは、パスワードがランダムな文字列に設定されています。必要に応じて、システム管理者または各ユーザーで、ログインに必要なパスワードを変更します。各ユーザーでパスワードを変更する場合は、あらかじめガルーンにログインすることで、パスワードを入力せずにデヂエにログインできます。

■ ガルーンとデヂエでの準備

1 必要な準備を行う

ガルーンのユーザー情報を、すでに運用中のデヂエに同期する場合は、同期を設定する前に準備が必要です。

「2.1 ユーザー情報の同期を設定する前に」 - 8 ページ

2 ガルーンとデヂエに、オープン統合認証 ver.2 を設定する

設定手順については、各製品の管理者マニュアルを参照してください。

すでにオープン統合認証 ver.2 を設定している場合は、「■ガルーンでの操作」に進みます。

次の項目は、ガルーンとデヂエで同一の値を設定する必要があります。

- Cookie 名
- 認証パスワード
- 発行ドメイン

3 ガルーンとデヂエからログアウトする

■ ガルーンでの操作

1 「システム管理」画面で、[各アプリケーションの管理] > [デヂエ連携] > [デヂエ連携の設定]の順にクリックし、[変更する]をクリックする

2 「デヂエ連携の変更」画面で各項目を入力し、[変更する]をクリックする

● 「デジエ連携の変更」画面の設定項目

項目	項目説明
連携	デジエ連携を使用するかどうかを選択します。 ※ 「使用しない」を選択すると、他の項目の設定は無効になります。
デジエ URL	連携するデジエの URL を入力します。
ユーザー情報の自動同期	ユーザー情報の自動同期を設定するかどうかを選択します。 「■同期する情報について」 - 6 ページ ※ 「設定する」を選択した場合、同期の繰り返し条件を設定します。 ※ ユーザー情報は、手動でも同期できます。 「■ユーザー情報を手動で同期する（ガルーンでの操作）」 - 12 ページ
デジエポートレットの使用許可	ユーザーのデジエポートレットの使用を許可するかどうかを選択します。 「3.2.1 デジエポートレットの使用を許可する」 - 13 ページ

■ ユーザー情報を手動で同期する（ガルーンでの操作）

ユーザー情報を手動で同期する手順は、次のとおりです。

補足

- ユーザー情報を手動で同期する前に、あらかじめユーザー情報の同期を設定する必要があります。
「2章 ユーザー情報を同期する」 - 8 ページ
- デジエ連携の設定で「ユーザー情報の自動同期」を設定している場合は、ユーザー情報は指定された時間に自動で同期されます。
「2.2 ユーザー情報の同期を設定する」 - 11 ページ
- コマンドラインを使用して、ユーザー情報を同期できます。
「付録 A コマンドラインでユーザー情報を同期する」 - 19 ページ

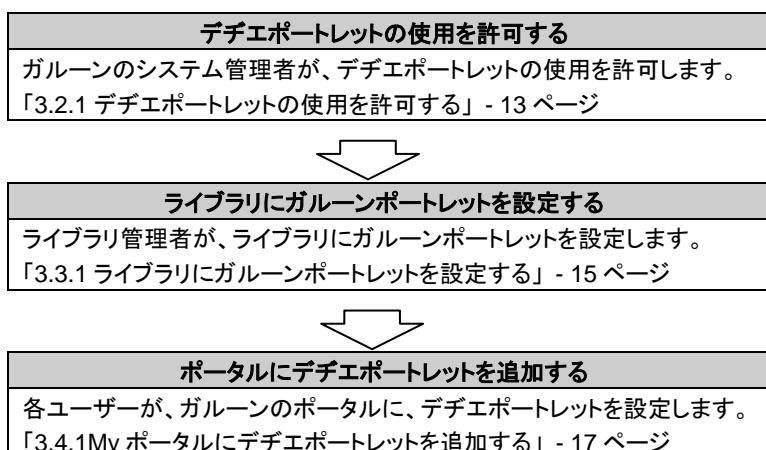
1 「システム管理」画面で、[各アプリケーションの管理] > [デジエ連携] > [デジエ連携の設定]の順にクリックする

2 [手動で同期する]をクリックし、「ユーザー情報の同期」画面で[はい]をクリックする

3章 デヂエポートレットを使用する

3.1 デヂエポートレットを使用するまでの流れ

ガルーンのポータルに、デヂエポートレットを追加するまでの流れを説明します。



3.2 システム管理者が行う設定

3.2.1 デヂエポートレットの使用を許可する

デヂエポートレットを使用する場合は、システム管理者がデヂエポートレットの使用を許可する必要があります。

■ ガルーンとデヂエでの準備

- 1 ガルーンとデヂエに、オープン統合認証 ver.2 を設定する**
設定手順については、各製品の管理者マニュアルを参照してください。
すでにオープン統合認証 ver.2 を設定している場合は、「■ガルーンでの操作」に進みます。

次の項目は、ガルーンとデヂエで同一の値を設定する必要があります。

- Cookie 名
- 認証パスワード
- 発行ドメイン

- 2 ガルーンとデヂエからログアウトする**

■ ガルーンでの操作

- 1 「システム管理」画面で、[各アプリケーションの管理] > [デジエ連携] > [デジエ連携の設定]の順にクリックし、[変更する]をクリックする
- 2 「デジエ連携の変更」画面で各項目を入力し、[変更する]をクリックする

● 「デジエ連携の変更」画面の設定項目

項目	項目説明
連携	デジエ連携を使用するかどうかを選択します。 ※ 「使用しない」を選択すると、他の項目の設定は無効になります。
デジエ URL	連携するデジエの URL を入力します。
ユーザー情報の自動同期	ユーザー情報の自動同期を設定するかどうかを選択します。 「2章ユーザー情報を同期する」 - 8 ページ
デジエポートレットの使用許可	ユーザーのデジエポートレットの使用を許可するかどうかを選択します。 ※ 「許可する」を選択した場合、キャッシュの保存期間を設定します。 ※ キャッシュの保存期間には、ポータルが表示時にデジエポートレットの表示を更新する間隔を指定します。 保存期間を長く指定すると、デジエポートレットの表示にライブラリの更新が反映されるまでに時間がかかる場合があります。また、保存期間を短く指定すると、デジエポートレットの表示に時間がかかる場合があります。

補足

- デジエポートレットの使用を許可すると、「ポートレットの追加」画面にデジエポートレットが追加されます。
「■デジエポートレットについて」 - 7 ページ

3.3 ライブラリ管理者が行う設定

3.3.1 ライブラリにガルーンポートレットを設定する（デチエでの操作）

ライブラリにガルーンポートレットを設定する手順は、次のとおりです。

- 1 「ライブラリ管理」画面で、[ライブラリの基本設定] > [ガルーンポートレット]の順にクリックする
- 2 「ガルーンポートレットの設定」画面で、[追加する]をクリックする
- 3 「ガルーンポートレットの追加」画面で、それぞれの項目を入力し、[追加する]をクリックする

「ガルーンポートレット一覧」画面に、設定したガルーンポートレットが追加されます。

各項目を設定する

●「ガルーンポートレットの追加」画面の設定項目

項目	項目説明
ポートレット名	ポートレット名を入力します。
表示内容	ポートレットの表示内容を選択します。 ※ 「集計」は、「集計」を設定しているライブラリのみ表示されます。
絞り込み	ポートレットで表示するレコードを絞り込む場合は、選択します。
ソート順	ポートレットで表示するレコードのソート順を選択します。
表示レコード数	ポートレットで表示するレコードの数を選択します。
レコード登録	ポートレットにレコードの登録ボタンを表示する場合は、選択します。

例: 次のように設定した場合のデジエポートレット

- ポートレット名 : 備品管理
- 表示内容 : レコード一覧ビュー(すべて)
- 絞り込み : 文房具
- ソート順 : 更新日時(降順)
- 表示レコード数 : 5
- レコード登録 : ボタンを表示する

デジエ					
備品管理 <input type="checkbox"/> レコードを登録する					
	種別	商品名	入・出荷	在庫確認・入荷日	備考
	文房具	ふせん (5cm×5cm)	10	2013/4/10	
	文房具	ふせん (5cm×5cm)	-5	2013/4/30	
	文房具	ボールペン(黒 ×20本)	-3	2013/2/28	
	文房具	ボールペン(黒 ×20本)	10	2013/3/10	新入社員用に多めに発注
	文房具	ボールペン(赤 ×20本)	-1	2013/3/30	

補足

- デジエのライブラリで自動ルックアップフィールドを使用している場合、参照先のライブラリまたはフィールドに閲覧権限がないフィールドの値は、デジエポートレットに表示されません。
- 設定したガルーンポートレットを表示できるユーザーを制限できます。
- 「**■ガルーンポートレットの表示ユーザーを設定する (デジエでの操作)**」 - 16 ページ

■ ガルーンポートレットの表示ユーザーを設定する (デジエでの操作)

ガルーンポートレットを表示できるユーザーを制限できます。ガルーンポートレットの表示ユーザーの設定手順は、次のとおりです。

- 1 「ライブラリ管理」画面で、[ライブラリの基本設定] > [ガルーンポートレット]の順にクリックする
- 2 「ガルーンポートレットの設定」画面で、表示ユーザーを設定するガルーンポートレットの[表示ユーザー]をクリックする
- 3 「ガルーンポートレットの表示ユーザーの変更」画面で、ガルーンポートレットを表示できるユーザーおよびグループを追加し、[変更する]をクリックする

3.4 ユーザーが行う操作

ガルーンのポータルにデチエポートレットを追加する手順を説明します。

注意

- デチエポートレットの表示では、ログイン情報は無効になります。このため、ログインユーザーに関する設定はすべて無効になります。

補足

- ガルーンシステムの管理者がデチエポートレットの使用を許可していない場合、デチエポートレットを使用できません。
「3.2.1 デチエポートレットの使用を許可する」 - 13 ページ
- デチエでライブラリ管理者が「ガルーンポートレット」を設定しているライブラリのみ、ガルーンでデチエポートレットを使用できます。
「3.3.1 ライブラリにガルーンポートレットを設定する（デチエでの操作）」 - 15 ページ
- デチエのライブラリで自動ルックアップフィールドを使用している場合、参照先のライブラリまたはフィールドに閲覧権限がないフィールドの値は、デチエポートレットに表示されません。

3.4.1 My ポータルにデチエポートレットを追加する

■ デチエでの準備

- 1 デチエポートレットに表示させるライブラリの「レコード一覧」画面を表示し、「その他の操作」メニューから[ガルーンポートレット一覧]をクリックする

デチエで「その他の操作」メニューを展開している場合は、「レコード一覧」画面で[ガルーンポートレット一覧]をクリックします。

補足

- ライブラリの設定によって、ツールメニューに「ガルーンポートレット一覧」が表示されない場合があります。ツールメニューに表示する項目の設定については、デチエの『ライブラリ管理マニュアル』で、「メニューに表示する項目を変更する」を参照してください。

- 2 「ガルーンポートレット一覧」画面で、表示するポートレットのライブラリコードをコピーする

■ ガルーンでの操作

- 1 「個人設定」画面で、[各アプリケーションの設定] > [ポータル] > [My ポータルの一覧]をクリックする
- 2 「My ポータルの一覧」画面で、デチエポートレットを追加するポータルの[My ポータル名]をクリックする
- 3 ポートレットを追加する位置の[この位置に追加]をクリックする
- 4 「ポートレットの追加」画面で、デチエポートレットを選択し、[追加する]をクリックする

5 手順4で追加したポートレットの[設定]をクリックする

6 「ポートレットの設定(デジエ)」画面で、「■デジエでの準備」の手順2でコピーしたライブラリコードをペーストし、[変更する]をクリックする

3.4.2 システムポータルにデジエポートレットを追加する



- システムポータルにデジエポートレットを追加するためには、「Administrator」権限が必要です。
- システムポータルに追加したデジエポートレットは、デジエに設定したアクセス権にかかわらず、ポータルを閲覧できるすべてのユーザーが閲覧できます。

■ デジエでの準備

1 デジエポートレットに表示するライブラリの「レコード一覧」画面を表示し、「その他の操作」メニューから[ガルーンポートレット一覧]をクリックする

デジエで「その他の操作」メニューを展開している場合は、「レコード一覧」画面で[ガルーンポートレット一覧]をクリックします。



- ライブラリの設定によって、ツールメニューに「ガルーンポートレット一覧」が表示されない場合があります。ツールメニューに表示する項目の設定については、デジエの『ライブラリ管理マニュアル』で、「メニューに表示する項目を変更する」を参照してください。

2 「ガルーンポートレット一覧」画面で、表示するポートレットのライブラリコードをコピーする

■ ガルーンでの操作

1 「システム管理」画面で、[各アプリケーションの管理] > [ポータル] > [ポータルの一覧]をクリックする

2 「ポータルの一覧」画面で、デジエポートレットを追加するポータルのポータル名をクリックする

3 ポートレットを追加する位置の[この位置に追加]をクリックする

4 「ポートレットの追加」画面で、デジエポートレットを選択し、[追加する]をクリックする

5 手順4で追加したポートレットの[設定]をクリックする

6 「ポートレットの設定(デジエ)」画面で、「■デジエでの準備」の手順2でコピーしたライブラリコードを貼り付け、[変更する]をクリックする

設定したデジエポートレットを公開する場合は、公開する設定が必要です。既定では「非公開」に設定されます。

付録A コマンドラインでユーザー情報を同期する

コマンドラインを使用して、ガルーンとデヂエのユーザー情報を同期できます。コマンドラインを使用すると、Windows のタスク スケジューラや Linux の cron を使用して、同期の繰り返し条件を設定できます。

⚠ 注意

- 同期を実行すると、デヂエのユーザー情報が上書きされます。同期したデヂエのユーザー情報は元に戻せません。

📖 補足

- ユーザー情報をコマンドラインで同期する前に、あらかじめユーザー情報の同期を設定する必要があります。
「2 章ユーザー情報を同期する」 - 8 ページ
- ガルーンを複数台のサーバーで運用している場合は、いずれか 1 台のサーバーでコマンドラインを実行します。

■ Windows 版の場合

ガルーンを次のディレクトリにインストールした場合を例として説明します。

C:\inetpub\scripts\cbgrn

1 コマンドプロンプトを起動する

2 カレントディレクトリを次のディレクトリに移動する

C:\inetpub\scripts\cbgrn

3 次のコマンドを実行する

```
.\grn_command.exe -f code¥command¥send_user_to_dezie.csp url=(デヂエの URL)?page=DBGaroonUserSync
```

例:

```
.\grn_command.exe -f code¥command¥send_user_to_dezie.csp  
url=http://dezie.domain.co.jp/scripts/cbdb/db.exe?page=DBGaroonUserSync
```

📖 補足

- コマンドを実行すると、標準出力の内容が次のログファイルに出力されます。
C:\inetpub\scripts\cbgrn¥send_user_to_dezie.log

■ Linux 版の場合

ガルーンを次のディレクトリにインストールした場合を例として説明します。

/var/www/cgi-bin/cbgrn

1 コンソールを起動する

2 次のディレクトリに移動する

/var/www/cgi-bin/cbgrn

3 次のコマンドを実行する

```
./grn_command -f code/command/send_user_to_dezie.csp url=(デヂエのURL)?page=DBGaroonUserSync
```

例:

```
./grn_command -f code/command/send_user_to_dezie.csp  
url=http://dezie.domain.co.jp/cgi-bin/cbdb/db.cgi?page=DBGaroonUserSync
```

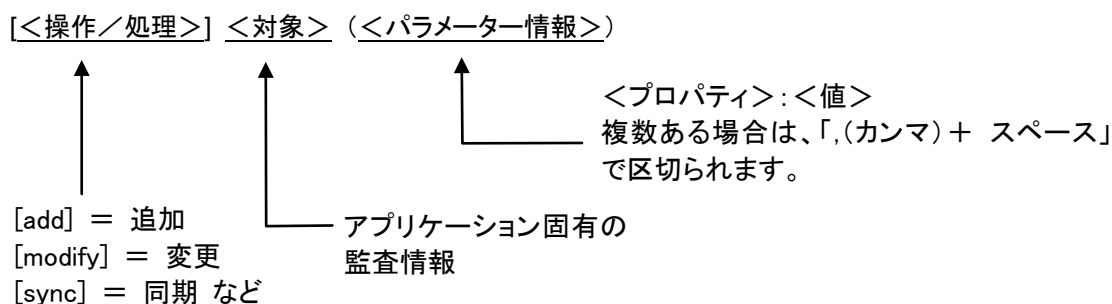
補足

- コマンドを実行すると、標準出力の内容が次のログファイルに出力されます。
/var/www/cgi-bin/cbgrn/send_user_to_dezie.log

付録B ログの出力仕様

ガルーンで出力されるログのうち、デジエ連携に関する操作で出力されるログの仕様は、次のとおりです。

■ ログの仕様について



補足

- ログに出力される日付や曜日には、ガルーンの初期設定で設定したタイムゾーンが適用されます。

■ 出力されるログ

● システム管理

プロパティ

dezielink_available: デジエ連携の使用(使用する:"1"、許可しない:"0")

url: デジエの URL

sync_user_available: ユーザー情報の自動同期(設定する:"true"、設定しない:"false")

repeat_type: 繰り返し条件(毎日:1、毎週:2、毎月:3)

repeat_value:

- repeat_type の値が 2 の場合は、日曜日:0、月曜日:1、火曜日:2、水曜日:3、木曜日:4、金曜日:5、土曜日:6
- repeat_type の値が 3 の場合は、日付(月末の場合は 0)

hour: 設定時刻(時)

minute: 設定時刻(分)

portlet_available: デジエポータルレットの使用許可(設定する:"true"、設定しない:"false")

cmd: コマンドラインで同期した場合に出力

対象	操作	深刻度	出力仕様
デジエ連携	設定	重要情報	[modify] dezielink_setting (dezielink_available:XX, url:XX, sync_user_available:XX, repeat_type:XX, repeat_value:XX, hour:XX, minute:XX, portlet_available:XX)
ユーザー情報の同期	同期	重要情報	[sync] dezielink_sync_user (url:XX, cmd:1)

● デヂエポートレットの操作

プロパティ

pid: ポータル ID

plid: ポートレットレイアウト ID

ppid: ポートレット ID

url: ライブラリ情報の取得 URL

対象	操作	深刻度	出力仕様
デヂエポートレット	設定	重要情報	[modify] dezielink_portlet_setting (pid:XX, plid:XX, ppid:XX, url: XX.)
デヂエポートレット	更新	重要情報	[get] dezielink_portlet_data (url: XX)

● エラー

プロパティ

error_code: HTTP クライアントが返したエラーコード

error_message: HTTP クライアントが返したエラーメッセージ

status_code および status: デヂエの Web サーバーが返したステータスコード

url: デヂエの URL

fault_code: デヂエサーバーが返したエラーコード

fault_string: デヂエサーバーが返したエラーメッセージ

対象	操作	深刻度	出力仕様
デヂエ連携	コネクションエラー	エラー	dezielink_connection_error(error_code:XX, error_message:XX)
デヂエ連携	コネクションエラー	エラー	dezielink_http_error(status_code:XX, url:XX)
デヂエポートレット	コネクションエラー	エラー	dezielink_connection_error(error_code:XX, error_message:XX)
デヂエポートレット	コネクションエラー	エラー	dezielink_http_error(status:XX, url: XX)
デヂエ連携	認証エラー	エラー	dezielink_auth_error (fault_code:XX, fault_string:XX)
エラー		エラー	[プロセス ID] エラー番号

付録C エラーメッセージ一覧

ガルーンで出力されるエラーメッセージのうち、デジエ連携に関する操作で出力されるエラーメッセージは、次のとおりです。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_DZLK_61000	処理を中断しました。	デジエ連携を使用しない設定になっています。	システム管理者にご相談ください。
GRN_DZLK_61001	デジエが動作するサーバーとの接続に失敗しました。	デジエが動作するサーバーとの通信時にエラーが発生しました。通信時のエラーメッセージ:〇〇	デジエが動作するサーバーの状態を確認してください。
GRN_DZLK_61002	処理を実行できません。	デジエとの通信時にエラーが発生しました。HTTP ステータスコード:〇〇	デジエが正常に動作していることを確認してください。
GRN_DZLK_61003	処理を実行できません。	デジエ連携に使用する認証方式が削除または変更されている可能性があります。	デジエ連携に使用する認証方式を確認し、再度設定行ってください。
GRN_DZLK_61004	処理を実行できません。	デジエ連携に使用する認証方式(〇〇)が無効になっている可能性があります。	デジエ連携に使用する認証方式を有効にしてください。
GRN_DZLK_61052	処理を実行できません。デジエのエラー番号:〇〇	デジエサーバーとの通信時にエラーが発生しました。デジエサーバーからの応答:〇〇	ガルーンとデジエで、オープン統合認証 ver.2 の設定を確認してください。または、デジエの状態を確認してください。解決しない場合は、お手数ですがサイボウズまでお問い合わせください。
GRN_DZLK_61053	処理を実行できません。	デジエサーバー(〇〇)とユーザー情報を同期中です。ユーザー情報の同期処理は、同時に複数実行できません。	実行中の同期処理が終了してから、再度処理を実行してください。
GRN_DZLK_61100	デジエポートレットの登録に失敗しました。	デジエポートレットの使用が許可されていません。	システム管理者にご相談ください。

お問い合わせ先 <http://products.cybozu.co.jp/garoon/support/>
発行日 2013年5月 第3版発行
発行者 サイボуз株式会社
〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル 12F

Copyright (C) 2010-2013 Cybozu